

- ◆当会の公益認定を見据え、各事業部をはじめ各都道府県との連携を強化した情報システム構築をめざしたい。
 - ・システム管理・強化など総合的情報管理を行いたい。
 - ・認定事業の管理システムを構築したい。
 - ・会員管理をはじめとする各種支援システムのスリム化を図り、外部委託も含め検討したい。
- ◆退職者を中心とした技術熟練者による技術指導に e-ラーニングの導入を検討し、その早期実現を図りたい。
- ◆会員をはじめ国民が携帯電話から各種案内・申し込み等に対応可能な携帯サイトシステムを構築したい。
- ◆精度管理調査における、輸血検査を、「輸血 A <血液型 3 種>」および「輸血 B <全般>」に分け実施したい。
- ◆生涯教育研修制度の履修率の向上を図り、都道府県技師会と連絡を密にした事業を遂行するとともに、履修修了証書を一新し、「臨床検査科」の標榜を視野に入れた名実ともに評価され得るものに変更したい。
- ◆第 57 回日本医学検査学会を、(社)北海道臨床衛生検査技師会の担当で、平成 20 年 5 月 29 日(木)～31 日(土)に札幌市において開催したい。
- ◆第 59 回日本医学検査学会を、和歌山県臨床検査技師会の担当により、平成 22 年 5 月 14 日(金)～16 日(日)に神戸国際会議場で開催したい。
- ◆認定事業を以下の 3 つに分けて事業展開したい。
 - ・日臨技認定センターによる認定制度
 - 1) 認定一般検査技師制度
 - 2) 認定心電技師制度
 - ・認定事業部による認定制度
 - 1) 認定臨床染色体遺伝子検査師制度
 - 2) 認定総合監理検査技師制度
 - ・臨床検査技師認定機構による認定制度
 - 1) 認定輸血検査技師制度、
 - 2) 認定臨床微生物検査技師制度
 - 3) 日本サイトメトリー技術者認定制度
 - 4) 認定血液検査技師制度
- ◆人財育成事業は生涯教育研修の一環であり教育研修部との連携を確固とし、昨年度開催した実績を基に、将来的には派遣を考慮した超音波インストラクター養成コースを再構築したい。
- ◆地区および都道府県技師会が実施している新人教育に関する研修会を助成したい。また、新人教育教本(CD・DVD を含む)を作製したい。
- ◆IFBLS への対応として、日本選出の同協会評議員を中心に協力体制を推進したい。
 - ・世界医学検査デーに実施する大型街頭 VISION を用いた啓発活動に同協会事業を反映させたい。
 - ・第 28 回 IFBLS 学会(インド)から要請の“シンポジスト派遣”に助成を行いたい。

- ◆開発途上国への技術支援を行いたい。
 - ・第 4 回 JAMT・JIMTEF 国際セミナーを国際医療技術交流財団(JIMTEF)と共同開催したい。
 - ・昨年度に続き、フォトサーベイを AAMLS 加盟国と JIMTEF 検査技術コース研修員を中心に実施したい。
 - ・昨年度に引き続き、国際医療技術交流財団(JIMTEF)個別研修・集団研修への協力を強化したい。併せて、AAMLS 加盟国間のネットワークづくりのため日本で研修を終えた研修生への情報支援をしたい。
*****詳細は総会議案書を参照のこと*****
 - ・執行部からの中間報告、事業計画案の骨子が説明された後、代議員からの質問・要望が出された。執行体制が続いていることを示すかのように、例年と比較し質問、要望は少なかった…
 - ・その内容は、公益認定に関わる事業展開一特に都道府県事業との関わり一、4 月からスタートするとされている「特定検診」に関わる事項、人財育成に関わる事項等であったが、その他、チーム医療に関わる事項、会長を囲むタベの継続要望が出された。
 - ・尚、議事概要記録については次号に掲載する予定としている。
<了>

70周年ビデオ完成!

今年度の臨床検査普及啓発事業である「国民向けのプロモーションビデオ」が完成しました。

このビデオは…

医療現場のスペシャリスト

“臨床検査技師”

臨床検査を通じて医療の発展

“日本臨床衛生検査技師会”

の 2 部構成となっています。

ビデオは会員施設へ配付し、各医療機関のフロアなどにおいて、活用していただくこととなっている。

